ZOSHIGAYA MISSIONARY MUSEUM

雑司が谷旧宣教師館だより

第5号
1997年10月10日発行

豊島区立
9.10.14
郷土資料館

豊島区立雑司が谷旧宣教師館
〒171 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎FAX(03)3985-4081

テネシー州知事より豊島区へ感謝状いただく

8月24日、テネシー州より、マッケーレブの4代目の姪にあたるスー・マクマホンさん、スー・フフランシス・ハントさん、そしてコロンビア病院のマネージャーであるポーレッタ・マテマン女史が、テネシー州知事よりの感謝状を携えて来館しました。

これは、テネシー州出身のマッケーレブのかつての住居を、豊島区が雑司が谷旧宣教師館として大切に保存し、一般公開していることへの州知事からの感謝状です。

当日はマッケーレブの日曜学校に通っていた人など、ゆかりの人たちも集まってくださいました。カウンセリングの勉強をされているマクマホンさんにとって、大叔父マッケーレブに関する話は、大変興味深いことだそうです。

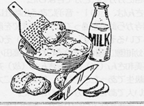
館内を見学しながら、集まってくださった人々と往時の思い出に話も弾み、しかも自然に（？）英語で会話をされていました。「昔とったきねづか」といっては本当に失礼ですが、子どもの頃（約70年前）マッケーレケーレブと遊んだり、生活の中で身につけていった英語が、いまだに活きていることに驚き、感動しました。

雑司が谷教会の鷲谷正己氏に、通訳をはじめお骨折りいただきました。ありがとうございます。区からは教育長らが出迎え、感謝状をいただきました。

博物館実習生見学

郷土資料館では毎年、学芸員養成課程の博物館実習の学生の受け入れを実施しています。今年も都内の大学の6名の学生が、実習を行っています。

9月30日午後、旧宣教師館の見学にきました。博物館としては小規模で、無人の館内が異例ながら、管理運営に関しての学問と実際のギャップと、自分だったらどう運営していくか等、夢とイメージを膨らませながら見学をしていました。



マッケーレブのプロフィール 3

本館1Fのビデオでもお話されている安藤しまさんが、久しぶりに旧宣教師館を訪ねてくださいました。その時のお話です。

「マッケーレブさんの一番の思い出」

マッケーレブさんのビデオを作る時に、日曜学校の思い出にするか、父親の葬式のことにするか迷いましたが、父の死は個人的なことなのでやめました。けれどマッケーレブさんの一番の印象は、父親の葬式のことです。

サイバート先生は、白いカーネーションをもってきてくれました。マッケーレブ先生は何も持って来ませんでした。けれど埋葬が終わり、みんなが帰った後もマッケーレブ先生は最後まで残って、側にいてくれました。このことが一番印象に残っています。

それと、70年前この建物はもっと大きかったような気がします。この旧宣教師館は当時は農家と同じで畑に取り囲まれていました。

トウモロコシをたくさん作っていて、マッケーレブ先生は手に負えなくなると、父が手伝いました。2円ぐらいの手間賃でやっていたと思います。

これも父から聞いた話ですが、関東大震災の時、マッケーレブ先生は、なんでも相談に来なさいと近所の人たちに言っていたそうです。教会の四畳半の部屋には、震災後老人と子どもが一時住んでいました。談

覚えてらっしゃいますか

旧宣教師館だより第3号編集後記に、朝霞に住むO・Iさんのことを書きました。開館以来毎月のように来館され、記名して行かれます。8月下旬ついにお目にかかることができました。

Oさんは、その1・音羽にある出版社にお勤めで、護国寺から此処を通って鬼子母神までを散歩コースとしているそうです。（なるほど！）その2・雑司が谷幼稚園に昭和3年頃通われて、高田小学校では斉藤美和さん（※）のお兄さんの（故）斉藤武彦氏と同級生であったことなど、雑司が谷に大変ゆかりの深い人であることがわかりました。

（※）斉藤武弥・百合の三女。劇団「民芸」の女優。小学校三年まで雑司が谷に居住。斉藤武弥・百合夫妻は私費を投じて、点字図書を出版したり、視覚障害者の自立のために「陽光会ホーム」を設立。『風の交叉点3 ー豊島に生きた女性』参照。

◎お願い

【雑司が谷の思い出】【洋館の思い出】【赤い鳥の思い出】等、記憶をひもといてみませんか？

「異人館」のこと、秋田雨雀に関したこと、どんなに些細なことでも構いません。あなたの思い出を是非お聞かせください。お待ちしています。

来館者の声

♡日本女子大の通信生です。夏のスクーリングでこちらに来ています。昨年1度来たのですがとてもきれいで忘れられず、今回は住居学のレポートに取り上げさせていただくことにしました。（鹿児島、20代女、2回目、8.19）

♤展示物にたいしたものはないが、秋田雨雀の思い出の中に近所のYさんが出ていたので感激しました。（雑司が谷、50代男、初めて、広報、9.6）

♡すごくかっこいい。ピアノがとてもすごい。音がいい。（区外、10代女、初めて、雑誌等の記事で 8.16）

♪♭ ピアノ調律をしていただきました。

近所に住む音楽学校の水谷先生が、丸一日掛かりで、年代物（大正時代）しかも久しく手入れをしてなかったピアノを見兼ねて、ボランティアで調律して下さったお陰です。有難うございます。

✿ 花ごよみ ✿

秋風とともにキンモクセイの香りが漂ってくる季節になりました。旧宣教師館中庭にはヤブラン・タマスダレ・萩・秋明菊等が、咲き乱れております。

今回は中庭の片隅に咲いている「秋明菊」についてふれてみたいと思います。これは、豊島区と秩父市が、昭和57年に姉妹都市になったのを記念して、秩父市から贈られた「秩父の花」です。

シュウメイ菊（秋明菊）

語　源	秋に咲く菊に似た花
科　名	キンポウゲ科　アネモネ属
適　地	水はけのよい日向
原産地	中国・台湾・ヒマラヤ
花　色	白・桃・紫紅色

9～10月、高さ50～80㎝の直立した茎の先に花茎5～6㎝の菊状の花をつけます。中国から渡来したもので、京都の貴船山に多く見られることから、別名貴船菊とも呼ばれている春植えの多年草です。

中庭の片隅に、華やかな彩りで咲いている、この「秋明菊」は秋のものとは思えない程です。ご来館の折りには是非ご覧ください。（反り目記）

⌗⌗⌗⌗ お知らせ ⌗⌗⌗⌗

雑司が谷旧宣教師館で遊ぶ PartⅢ

「勾玉（まがたま）作り」

古代遺跡から、副葬品として勾玉が発掘されます。装身具と使われた、C字形に曲がった玉のことです。

自分だけのオリジナルの勾玉を、大切な人へのプレゼントを作ってみませんか！（12月実施予定）※詳細は広報とします。

【編集後記】春に咲いた西洋シャクナゲと紫陽花が、再花を咲かせています。新聞で桜が咲いている記事を読みました。美しいものを目にすることは嬉しいのですが、自然の営みが崩れているとしたら心配です。身近の僅かの異変にも、常に気を配っていたいものです。浜地記